



佐々木中学校だより

TEL : 0254-27-2505

E-mail : sasaki-jhs@inet-shibata.or.jp

URL : <http://sasaki-j.shibata.ed.jp>



教育目標
よく考え、進んで
実践する生徒

明年もより良い年に

2学期末保護者会には、保護者の皆様から当校にお越しいただき、本当にありがとうございました。2学期の学校での取組の様子や、冬休みの過ごし方など、限られた時間ではありましたが、懇談を進めることができました。また3年生は三者面談として行い、卒業後の進路につきまして具体的に話し合うことができました。今年もあとわずかとなりますが、体調管理を十分していただき、よいお年をお迎えいただきますようご祈念申し上げます。

さて、佐々木中学校では、11月29日(金)に、令和7年度生徒会役員選挙を行い以下の4名が信任投票で次期生徒会役員に決定しました。

令和7年度 会長
副会長
副会長
応援団長

今年度は、3年生を中心とした現行の本部役員が生徒会を引っ張って行ってくれました。来年度も、今回決定した4人を中心により良い生徒会を創造してくれると確信しています。職員も全力で支援してまいります。よろしくお願いいたします。



生徒会役員任命式より
左から、会長、副会長2名、応援団長

今後の主な予定

*詳しくはホームページをご確認ください。予定は変更する場合があります

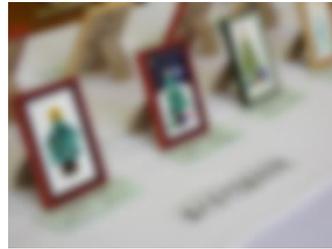
1月

- | | |
|--|---|
| 1日(水) 元旦 | 21日(火) 教育相談日(～24日) |
| 7日(火) 3年実力テスト | 22日(水) フッ化物洗口 佐中サーキット
私立高校受験日のため、
3年のみ3限後放課 |
| 8日(水) 始業式(CP室) 給食あり
5時間授業 スマイルアンケート | 23日(木) 月曜6時間授業 |
| 9日(木) フッ化物洗口 佐中サーキット | 27日(月) 口座振替日 3年進学面談(～29日)
1年生食育(小煮物作り) |
| 12日(金) 食と生活習慣のキャンペーン(～16日) | 28日(火) 放課後活動停止
メディアコントロールウィーク(以下、MCW)
生徒総会 |
| 13日(月) 成人の日 | 29日(水) 放課後活動停止 MCW |
| 14日(火) 専門委員会
テスト3週間前範囲配付 | 30日(木) 放課後活動停止 MCW
フッ化物洗口 |
| 15日(水) 部活休止日 5時間授業 職員会議 | 31日(金) 放課後活動停止 MCW
巴練習(1、3年) |
| 16日(木) フッ化物洗口 議案書審議 委員長会
佐中サーキット | |
| 17日(金) 生徒朝会 | |
| 20日(月) スキー教室(1、2年)
学校給食週間(～24日) 部活休止日 | |

※以降は、後日連絡

☆佐々木地区作品展

11月3日（日）に佐々木地区コミュニティセンターで行われた作品展に、佐々木中学校から、1・2年生の書写と創作部の七宝焼きの作品を展示していただきました。会場を訪れた地域の方々が、生徒の作品を熱心に鑑賞されていました。



☆花壇コンクール&花壇ボランティア

11月7日（木）、新発田市生涯学習センターで令和6年度花壇コンクール授賞式が行われました。佐々木中学校は、優良賞をいただきました。式には、日頃花壇をはじめ校地の整備担当職員が出席し、賞状を受けました。今年度は、創作部が花壇用のイラスト看板を製作してくれたり、コスモスも早くから満開になったりと、1年を通して様々な花々が華やかに咲き香り、心を潤してくれました。



また11月14日（金）の昼休みには、来年度に向けた球根や花苗の花植え作業に多くの生徒がボランティアで参加してくれました。来年の春には、また色鮮やかなチューリップの花々が開いてくれることを思い浮かべながら、参加者で花壇の整備を行いました。



☆避難訓練

11月12日（火）に避難訓練を行いました。今回は地震を想定した訓練でした。避難訓練は年に2回実施していますが、災害はいつ起こるか分からないものであり、だからこそそいつ不測の事態に直面したときでも、状況を瞬時的に的確に判断し、迅速に行動しなければなりません。当日、生徒は放送が流れると、その内容に集中し、指示に従い素早く行動しました。避難完了後防災担当から、真剣に取り組んでいたことへの称賛と、地震想定における避難の在り方についての確認が行われました。

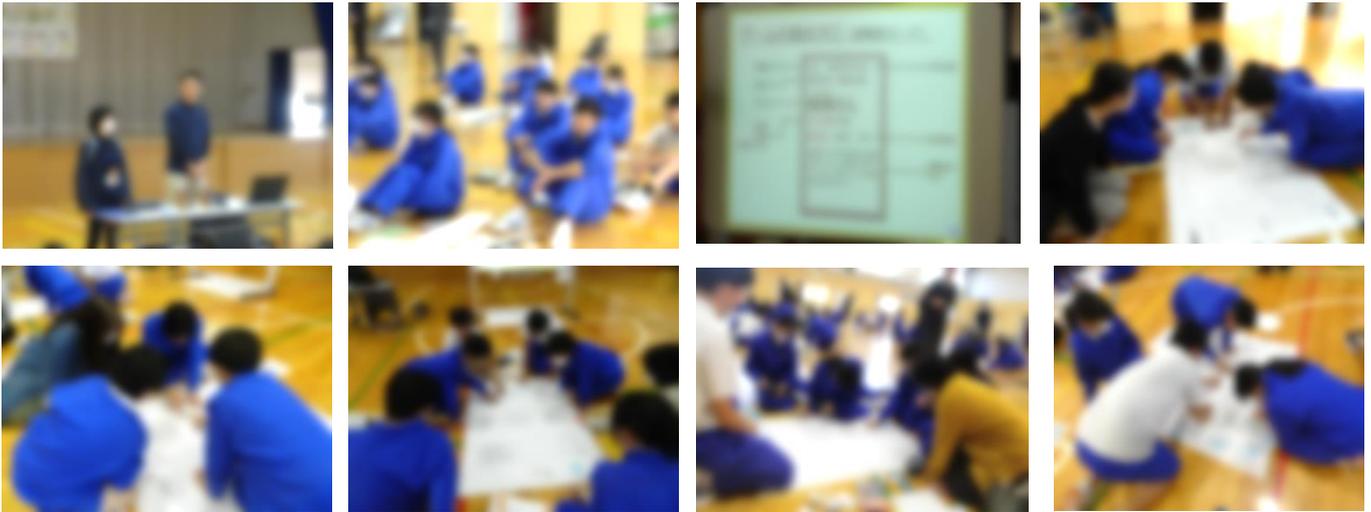


PTAのページ

☆ふるさと佐々木中防災教育～災害時、自分は何ができるか～

11月13日(水)には、PTA主催事業として保護者の方々からもご参加いただき、「ふるさと佐々木中防災教育」を行いました。今回は「もし、私たちが被災した場合、避難所で私たちができることは何か」について考える活動を行いました。

指導者としてお越しいただいた新発田市社会福祉協議会の方々からは、「避難所運営ゲーム(HUG)」の進行・指導をしていただきました。「避難所運営ゲーム(HUG)」とは、災害等で避難所を運営することになった場合、運営側として様々な問題にどう対処するかを体験できる活動です。それぞれの縦割り班に保護者の方々にも入っていただき、避難所運営の疑似体験を行いました。



生徒・保護者の感想から

<生徒から>

- ・避難してくる人たちの中には様々な人がいて、それぞれが抱えてる問題や事情があるので、避難場所をどこにするのかを決めるのがとても難しいと思いました。加えて、限られた時間の中で判断しなければならないところも大変だなと思いました。
- ・1人1人違う状況で避難してきているため、全員が協力して過ごすには、配慮をして、過ごしやすい環境を整えることが大切だと思いました。実際災害が起こり、避難生活をしなければならない状況になった時も今回のように話し合っ解決したいと思いました。
- ・今までは、避難所で自分に何が出来るか「避難する側」として考えてきたけれど、今回の授業で「運営する側」として避難してきた人を案内したり、受付やテレビなどを設置したりしてみて、考えることが多くて大変だなと思いました。

<保護者から>

- ・避難所の運営というなかなか体験できないことをして見て、とても大変でした。それぞれの世帯のことを考え配慮するのはとても難しいですが、皆の意見がたくさん出ていて、とても勉強になりました。家でも話し合っみたいと思いました。本日は貴重な機会、ありがとうございました。
- ・実際に災害が起こった時に、ただ避難するだけでなく、どこにどのように逃げれば良いか改めて考える必要があると実感しました。ペットや被災の状況を考えて避難所の配置を決めたりするのは、大人でも難しいと思いました。
- ・子どもたちなりの意見をきちんと持っていて、手際よく動いていて感心しました。大人には大人の気づき、子どもには子どもの気づきもあると思うので、子どもたちの意見・気づきに耳を傾けることも必要だなと感じました。

☆いじめ見逃しゼロスクール集会

12月4日（水）に、佐々木小学校6年生を迎えて開催しました。今回は、グループLINEのやりとりの中で“客観的な視点で考え、トラブルにならないように”返信するにはどうすればいいか、動画を見ながら、6年生を交えた縦割り班でグループを作り考えていきました。次第は生徒会本部の進行で、初めにミニレクリエーションを入れ、グループ内の雰囲気が柔らかくなったところで、動画の視聴、話し合いに入りました。端末によるSNSの利用は、生徒にとって身近なコミュニケーションツールの一つです。その利用の在り方について生徒同士で考え意見を交換し合うことは、問題を自分たちのこととして捉えるために重要な活動です。ご家庭でもSNSの利用の在り方について、改めて話し合っただけたらと思います。



☆後期佐中フェスティバル

12月10日（火）5、6限に「後期佐中フェスティバル」を行いました。生徒会本部が計画・準備・進行をしてくれました。今回もゲームの部とパフォーマンスの部を行いました。今回はさらにパフォーマンスの部で、保健体育の授業で練習したダンスパフォーマンスを、全員がステージ上で披露しました。誰でも人前で何かを披露するのは、とても緊張するものです。でも、そのために頑張って仲間と練習し、それを皆に披露するのは、たとえ失敗したところがあったとしても、この上ない達成感を感じるものです。また佐中生は、それを一人一人が本当に楽しみながら披露し、見ている側も、楽しみながらその頑張りを拍手で称賛してくれます。素直に物事を楽しむことができるのは、とても素敵なことです。これからもずっと持ち続けてほしいと思います。

